ジャパンパラゴールボール競技大会終了御礼

2017ジャパンパラゴールボール競技大会の終了にともない、関係する皆様に対し厚く御礼申し上げます。

まず、本大会が、滞りなく無事終了しましたこと、千葉市様はじめ多くの関係者の皆様によるご支援とご協力の賜物であると、主管競技団体として心より感謝申し上げます。

あわせて、大会をご観戦いただいた皆様や歓迎式典にご出演いただいた皆様、選手入場に花を添えていただいたサポートキッズ、その他数え切れないほどの皆様に対し、心底より御礼申し上げます。

ありがとうございました。

今年度本競技大会は、カナダ・ギリシャ・韓国よりナショナルチームにお越しいただきました。

２０１４年より開催された本大会で、１５年同様、日本を含む４カ国４チームによる開催となり、質実ともに高いレベルでの競技大会となりました。

その中で、開催国日本代表チームが金メダルを獲得できたことは、来年開催されるＩＢＳＡ世界選手権大会出場に向けた大事な大会となる、今月タイで開催のアジアパシフィック大会での活躍に大きな弾みをつけたものと感じています。

　次に、大会運営においては、ＳＭＢＣ信託銀行様やＪＡ三井リース様の各社社員様によるサポートをはじめ、当協会関係者はもとより、順天堂大学の学生諸君など、お一人お一人関わりの違いはあれど、会期の間全てに渡って、或いは一日だけでも、貴重なお時間を割いて大会の裏方として下支えしていただいたことに、協会役員一同、感謝の思いで一杯です。

さらに、海外よりお集まりいただいた国際審判員の皆様には、行き届かないことばかりであったと思いますが、大会期間を通じて試合の重要な責務を全うしていただき、厚く厚く御礼申し上げます。

　大会運営側からの十分なおもてなしができませんでしたが、日本滞在中は、我が国の良き一端に触れていただけたものと推察いたします。

最後に、本競技大会を昨年度に続き主催していただいた「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」関係者並びにオフィシャルパートナーのご尽力に対し、敬意を表すとともに、次年度以降の本競技大会開催に向け、あらためてご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

　以上、簡単ではございますが御礼の辞といたします。

　一般社団法人日本ゴールボール協会　会長　　京近　高典